

竹原市社会教育・生涯学習推進ビジョン
アクションプラン

令和7年1月策定

令和7年9月改正

竹原市教育委員会

文化生涯学習課

1 アクションプラン策定の趣旨

竹原市教育委員会では、第6次竹原市総合計画基本計画の生涯学習の施策分野において、各取組の方向性を明らかにするとともに、「竹原市社会教育・生涯学習推進ビジョン」では、「多彩な生涯学習の場が充実し、それらを担い、推進していく人材（コーディネーター）の育成」を基本目標に掲げ、社会教育・生涯学習の推進に取り組んでいます。

この基本目標の実現に向け、令和7年1月に「竹原市社会教育・生涯学習推進ビジョン」の具体的な動きを明らかにしたアクションプランを策定しました。

2 計画期間

本計画の期間は令和6年度から令和10年度までとし、毎年度取り組む事業等を施策の主な内容に反映して修正を加えることとします。

3 計画の改正

令和7年1月に策定した「令和7年度竹原市社会教育・生涯学習推進ビジョン」を踏まえて、具体的な動きを明らかにしたアクションプランへの改正を行いました。

令和7年度 竹原市社会教育・生涯学習推進ビジョン



【基本目標】
成 多彩な生涯学習の場が充実し、それらを担い、推進していく人材（コーディネーター）の育



庁内関係部署との連携

【基本方針1】「学ぶ場・つながる場」づくり

①ライフステージに応じた学習機会の充実

図書館運営事業

市立竹原書院図書館において、市民生活や教養、芸術・文化の向上に資する書籍等を収集し、それらを市民に広く提供することにより、市民の生涯学習環境を充実させます。

民間事業者等のもつ専門性、実績、ネットワーク等を活用し、より効果的な図書館運営を図るため、引き続き指定管理者制度により、図書館運営を行います。

情報発信

生涯学習の行事等さまざまな情報を検索できるよう、ウェブサイトでの生涯学習情報を充実させる他、SNS等により情報発信し、幅広く市民に情報が届くよう努めます。

②地域課題に対応した学習機会の充実

地域交流センター運営事業（地域づくり課）

個人の学びに加え、社会ニーズも踏まえた学びを実践するとともに、その学びの成果を活用し、社会全体の教育力を向上させるため、地域交流センターにおいて各種講座、教室等を実施します。

③学びを通じた交流・仲間づくりの推進

たけはらときめき講座

社会教育を基盤とした人づくり、つながりづくり、地域づくりが学びと活動の好循環となり、市民が「学ぶたのしさ」や竹原の文化と親しみ、生きがいや楽しみを実感し、心ときめき人生を送るために、たけはらときめき講座を実施します。

学びを通じた地域づくり（地域づくり課）

地域住民にとって最も身近な学習・交流の活動拠点である地域交流センターが、行政や地域の関係機関・団体等と連携・協働して地域課題に対応した学習機会を提供し、学びを通じた地域づくりの活動を促進できるよう支援します。

④市民が学び、交流できる施設環境の整備

図書館整備事業

市役所庁舎跡地に建設予定の複合施設に、学習や交流などで多世代が滞在でき、生涯学習の知の拠点となる図書館の整備に取り組みます。

【基本方針2】「学びが循環する地域」づくり

①学校と地域が連携した取組の充実

学びを通じた地域づくり（地域づくり課・再掲）

地域住民にとって最も身近な学習・交流の活動拠点である地域交流センターが、行政や地域の関係機関・団体等と連携・協働して地域課題に対応した学習機会を提供し、学びを通じた地域づくりの活動を促進できるよう支援します。

②コミュニティ・スクールと連動した地域の活性化

地域学校協働活動事業

学校運営協議会と地域学校協働活動の一体的推進を通して、学校と地域住民・団体等をつなぐ「ゆるやかネットワーク」を構築し、学校を核とした地域づくりに取り組みます。

地域の人材育成

地域交流センター職員等の地域の人材を育成するために、専門的見地における講演や職務内容に応じた事例紹介・演習を通じて、生涯学習・社会教育に関する近年の動向等を学ぶ機会を提供します。

職員の人材育成

職員の専門性向上のため、社会教育主事・社会教育士の継続的な育成に取り組みます。

【基本方針3】「スポーツ、芸術・文化活動の場」づくり(スポーツ)

①団体の継続的活動に向けた支援

竹原市スポーツ協会

市内のスポーツ団体を統括し、市民の体力向上とスポーツ振興を図るための活動を支援します。(16団体加盟 令和7年8月1日現在)

②活動を通じた交流・仲間づくりの推進

竹原市民スポーツ大会

竹原市民が一堂に会するスポーツ大会を開催し、スポーツ振興を図るとともに、市民一人ひとりがスポーツに親しむことにより、体力の向上や健康の増進のみならず、スポーツを通じてふれあいの輪を広げ、豊かな生活を営むことを目指します。

竹原市スポーツ推進委員協議会

竹原市スポーツ推進委員が各種研修会・研究大会等に参加し、相互の情報交流と資質の向上を図ります。

スポーツ少年団

スポーツ少年団が実施する一人でも多くの青少年がスポーツの歓びに触れ、こころとからだを育てるとともに、スポーツを通じた人と人のつながりによる地域づくりに貢献する活動を支援します。

わがまちスポーツ

地域に存在するスポーツ資源を、「誇れるスポーツ」に磨きあげ、体験し、関わってもらふことで、地域を活性化する「わがまちスポーツ」の取組を進めます。

部活動の地域連携・地域展開

中学校及び義務教育学校後期課程の生徒が、スポーツや文化活動等の部活動を今後も継続できる環境を維持していくため、部活動の地域連携や地域展開を進めることを計画していきます。

これにより、これまで以上に生徒が学校外のスポーツ競技者・指導者と交流する機会をもち、将来的にスポーツや文化活動等に参画しやすい機運の造成を図ります。

③活動を支える場及び成果を活かせる機会の充実

トップアスリート教室

トップアスリート教室を開催し、子供たちがスポーツを通じて夢や目標をもち、取り組むことにより、競技力の向上を目指すとともに、様々なスポーツに触れる機

会を提供します。

あわせて、指導者もトップ選手等の指導方法を学び、指導力の向上・育成につなげます。

竹原ロードレース大会

竹原ロードレース大会を開催し、市民に走る喜びを感じる機会を創出するとともに、競技力の向上、健康増進等を目指します。また、市民のニーズを捉えて大会の内容を充実させ、参加者数の増加や本市を訪れる機会の創出につなげます。

インクルーシブスポーツ教室

インクルーシブスポーツへの理解と普及のために、体験教室を開催し、インクルーシブスポーツに触れる機会を提供します。

④スポーツ、芸術・文化に触れる機会の充実

体育施設維持管理

市民の体育・スポーツの普及・振興及び健康で文化的な行事、スポーツ・レクリエーション等の用に供するため体育施設を開放し、健康・体力づくりの推進を図ります。

現在利用停止中の竹原西小学校グラウンド屋外照明について、利用再開に向けLED照明に更新します。

学校統廃合が進む中で廃止された学校の体育施設（体育館・グラウンド）の利用方法等を検討していきます。

ピースリーホームバンブー総合公園管理事業

ピースリーホームバンブー総合公園の体育施設及びスポーツ関連設備の維持管理・修繕を計画的に行います。

広島ドラゴンフライズとの連携

竹原市と連携協定を締結している広島ドラゴンフライズと連携したスポーツ振興に取り組みます。

【基本方針3】「スポーツ、芸術・文化活動の場」づくり（芸術・文化）

①団体の継続的活動に向けた支援

竹原市芸術文化振興協議会

芸術文化活動支援事業を実施し、市内で芸術・文化活動をする団体等の活動を支援します。（28団体加盟 令和7年8月1日現在）

②活動を通じた交流・仲間づくりの推進

竹原市総合文化祭

市内の芸術文化活動の推進を図るため、竹原市文化団体連盟と共催し、舞台部門・展示発表等の機会および鑑賞の機会を提供します。

③活動を支える場及び成果を活かせる機会の充実

竹原市美術展

広く市民から美術作品を公募し、優れた作品を展示することにより、創作活動を奨励するとともに、鑑賞の機会を提供し、芸術文化の向上に寄与します。

竹原市立学校児童生徒図画・書道展

児童生徒の芸術・文化活動の活性化を図るとともに、児童生徒の芸術に対する親しみと心の豊かさを育むため、竹原市立学校児童生徒図画・書道展を開催します。

美術体験講座

地域住民や児童生徒を対象に、もの作りの楽しさや芸術に関心を持ってもらうことを目的として、講座の開催等を行います。

尾三地区フェスティバル

各地域の文化芸術団体による舞台発表を通じた相互交流と、「けんみん文化祭ひろしま」地区予選を目的に開催し、けんみん文化祭ひろしまへの出演を推進することで、県内各地の文化芸術団体との交流促進と、地域文化活動の振興に寄与します。

④スポーツ、芸術・文化に触れる機会の充実

竹原芸術イベント「広島竹原芸術祭2024記憶の地層」【令和6年度終了】

先人が築き上げた竹原の町並みを芸術空間として活用することにより、若手芸術家を育むとともに町並みの付加価値の創造・人づくり・芸術交流など文化・芸術による個性あるまちづくりを推進します。

美術品「展示機能」の再構築

芸術・文化振興のため、市が保管している美術品の展示機能を再構築していきます。

今井政之氏顕彰施設の整備

本市の名誉市民である陶藝家今井政之氏の功績を広く伝えるとともに、市民の芸術・文化への関心を高めることを目指し、今井政之氏顕彰施設の整備に取り組むこととし、具体的な展示計画等や官民連携の可能性調査を実施し、基本計画を作成していきます。

【基本方針4】「学校・家庭・地域がつながる環境」づくり

①地域の多様な主体との連携による学習機会の提供

家庭教育力の向上（健康こども未来課・総務学事課）

子供が家庭で社会生活に適応するために必要な生活慣習などを身につけながら健やかに成長していけるよう、ニーズに応じた養育支援や子供への直接支援を関係機関と連携して行い、家庭教育力の向上を図ります。

②青少年の健全育成に向けた取組の充実

二十歳の集い

成人から2年が経過し、一定の社会経験を経た二十歳の時期に改めて感謝と自覚を促し、成人として社会に貢献することへの激励を目的として二十歳の集いを開催します。

「少年の主張」竹原市中学生話し方大会（健康こども未来課）

子供たちが、相手の立場や信条に共感する力、論理的に物事を考える力、自分の主張を正しく伝える力、広い視野と柔軟な発想や創造性などを身につける機会とすることを目的に中学校・義務教育学校の生徒を対象とした話し方大会を開催します。

部活動の地域連携・地域展開（再掲）

中学校及び義務教育学校後期課程の生徒が、スポーツや文化活動等の部活動を今後も継続できる環境を維持していくため、部活動の地域連携や地域展開を進めることを計画していきます。

これにより、これまで以上に生徒が学校外のスポーツ競技者・指導者と交流する機会をもち、将来的にスポーツや文化活動等に参画しやすい機運の造成を図ります。

子ども110番の家（総務学事課）

学校と連携し、協力いただける地域ボランティアへ、子ども110番の旗の配布・設置を行い、登下校中等に子供が危険を感じた際にかげこむことができる「子ども110番の家」の取組を行います。

子供登校見守り活動（総務学事課）

子供たちの登下校にあわせて地域ボランティアや保護者による見守り活動ができるように、学校から必要な情報を地域ボランティアや保護者に発信できるメール配信サービスを設定します。

防犯ブザーの配布（総務学事課）

小学校・義務教育学校前期課程の新1年生に対し、登下校中の安全対策のための防犯ブザーを配布します。

「情報モラル教育」の充実（総務学事課）

民間事業と連携した取組により、児童生徒の成長段階に応じた情報モラル・リテラシーの教育資材に、児童生徒及びその保護者等がアクセスできる環境を構築します。

③学びを通して誰もが共に生きる環境の充実

ブックスタート事業（健康こども未来課）

乳幼児期から絵本に親しみ、絵本を通して、乳幼児と保護者が心触れ合うきっかけを作ることを目標に事業の充実に取り組みます。

「情報モラル教育」の充実（総務学事課・再掲）

民間事業と連携した取組により、児童生徒の成長段階に応じた情報モラル・リテラシーの教育資材に、児童生徒及びその保護者等がアクセスできる環境を構築します。

④団体の継続的活動に向けた支援

関係団体への補助金

地域で子供たちを育てる環境づくりとして、PTAの活動を支援します。

女性の教養と地位の向上を高め、明るい地域社会の建設を図ることを目的とした竹原市女性連絡協議会の活動を支援します。

広く市民にスポーツの機会を提供するため、市民スポーツ大会や各種業を開催する竹原市スポーツ協会の活動を支援します。